

宮城県建設機械リース業協会

平成 27 年度 第 6 回理事会 議事録

日 時 : 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 12 : 00 ~ 14 : 00
場 所 : 協会会議室
出 席 者 : 菅野会長、山本、東海林各副会長、
後藤、菅原、浦田、蛭名、野里、伊藤(代理高橋)、中野、
山本、天道各理事、宝池監事 計 13 名 (欠席 5 名)
事務局 小原

—配布資料—

1. 第 42 回定期総会タイムスケジュール
2. 第 43・44 期役員名簿(案)
3. H27 年度総会出席者名簿
4. 収支報告書 (2/29 現在)
4. HP 調査集計表 (2/29 現在)
5. 盗難調書 (2/29 現在)

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。
又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により菅野会長が任にあたることを報告した。

* これより、菅野会長が議長を務めた。

* 菅野会長挨拶(要旨)

- ・ 東日本大震災から 5 年目を迎えようとしている。復興は進んでいるが、沿岸部の石巻地区、気仙沼地区はまだのように感じられる。我々レンタル業界の稼働率は大分落ち着いてきている。今後は価格競争の激化が案じられるが、1 月初めから重機災害等が続いているようだ。我々の貸出責任の話は今のところ無いようだが、適正価格の確保と安全性確保に取り組んでいただきたい。また、今回から㈱レンタルのニッケン天道太郎理事が参加することになったので、ご挨拶をお願いする。
- ・ 本日の議題の中に来期の役員改選の件もあるが、若い世代が全国的になってきている。当支部としても将来を見据えた検討をお願いしたい。

以下省略

議事録署名人…… (株)ワキタ宝池明理事(株)、(株)レンタルのニッケン天道太郎理事の
2名を指名した。

1. 本部可発委員会 (2/4) 報告……………菅野会長

- ・ 昨年とシステムが変わった。料金＝本部にて一括徴収、それに伴い受験場所の変更等が事前予約が必要になった。(変更が難しい)
- ・ 可搬型取扱資格は、重要な資格なので、更新等は確実にいき、失効等の無いように取り計らいをお願いする。
- ・ 本年度の東北地区の講習は新規が 7/6～7、更新が 7/8 開催の予定。
- ・ レンタル協会の会員以外の方も受講可能との事で、PRをお願いする。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

2. 第 43 回定期総会について……………小原事務局長

(別紙資料の通り)

- ・ タイムスケジュール的には昨年と同様の時間配分で進める予定。
- ・ 受付の応援として(株)カナモト、(株)アクティオから各 2 名をお願いする。
- ・ 日本建設機械レンタル協会宮城支部の名称での開催となる。
- ・ 来期は役員改選の年であり、今回の理事会での検討をお願いしたい。
→役員数について現在理事総数 18 名だが、17 名体制とする。
→会長人事については、菅野会長に継続してもらうこととなった。

(三役を中心のバックアップ体制を強化する。)

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. その他

- ・ 次回開催日は、平成 28 年 5 月 19 日 (木) 16 : 00～
仙台サンプラザ (第 43 回定期総会開催時)
- ・ HP アンケート結果の報告 (別紙資料の通り) 今後も継続して周知に取り組む。
- ・ 収支報告 (別紙資料の通り)
支出については、更に厳格に取扱う。余剰金は昨年並みの金額となる予定。
- ・ 盗難報告 (別紙資料の通り) = 宮城県では 2 件発生している。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

<情報交換>

- ・日本海側での稼働率はかなり悪い状態、単価の維持に努めている。特に荘内方面が厳しい。又、労働基準監督署のパトロールが頻繁に行われている。特定自主検査・36 協定・健康診断追跡診断状況等であった。
- ・舗装工事での談合事件の関連で、元請業者の行政処分等の影響が懸念される。
- ・建設機械の販売量は宮城・福島で増加傾向が継続している。
- ・重機に余剰感が出てきている。秋田・青森ではかなりの低価格が見受けられる。廉価防止の対策が必要である。
- ・高所作業車も廉価が心配される。色々な機種でも稼働率は低下しているようだ。
- ・石巻市の発注工事について今後5年間は順調に発注されるとのこと。
- ・与信等の情報の共有化に取り組んで協会としての良い活動に繋げてもらいたい。

平成 28 年 3 月 8 日

議事録署名人

理 事

(株)ワキタ

宝池 明 

理 事

(株)レンタルのニッケン

天道 太郎 